

9 年間所得

母子生活支援施設入所世帯の平成19年の年間所得分布は、表33のとおりとなっている。「不明」を除いた分について「平均所得金額」をみると、174万5千円となっており、一般家庭の563.8万円（平成19年国民生活基礎調査の結果による）の3割程度に止まっている。

表34 年間所得別母子生活支援施設入所世帯数

数 総	100万円 未満	100～199 万円	200～299 万円	300～399 万円	400万円 以上	不 明	平均所得 金 額
4,056	475	1,660	961	149	25	786	174.5
100.0%	11.7%	40.9%	23.7%	3.7%	0.6%	19.4%	万円

注) 構成割合及び「平均所得金額」は総数から不明を除いて算出

10 母子生活支援施設に入所している児童の虐待経験の状況

虐待経験の状況については、「虐待を受けたことがある」が全体の41.4%（前回18.5%）であり、男子41.6%（前回20.0%）、女子41.3%（前回16.9%）となっている。

表35 虐待を受けた経験別母子生活支援施設入所児童数

	総 数	あ り	な し	不 明
総数	6,552	2,711	3,561	252
	100.0%	41.4%	54.3%	3.8%
男	3,257	41.6%	54.4%	3.7%
女	3,272	41.3%	54.4%	4.0%

注) 総数には、性別不詳を含む。

VI 児童養護施設の年長児童の状況

1 年長児童の就学状況

今回の調査で回答が得られた中学3年生以上の年長児童は、7,265人であった。その内男子は3,757人(51.7%)、女子は3,480人(47.9%)、性別不詳が28人(0.4%)となっている。

また、就学状況別の年長児童数は、中学3年生は2,402人(33.1%)、高校生(通信制を含む)は4,614人(63.5%)である。

それ以外では、専修学校には53人(0.7%)が、公共職業訓練校には26人(0.4%)が通っている。

表36 児童養護施設の年長児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4	通信制	高校卒	専修学	公職訓	その他	不詳
総数	7,265 100.0%	2,402 33.1%	30 0.4%	1,729 23.8%	1,505 20.7%	1,326 18.3%	32 0.4%	22 0.3%	14 0.2%	53 0.7%	26 0.4%	95 1.3%	31 0.4%
男	3,757 51.7% [100.0]	1,247 [33.2%]	16 [0.4%]	933 [24.8%]	740 [19.7%]	694 [18.5%]	16 [0.4%]	7 [0.2%]	8 [0.2%]	27 [0.7%]	24 [0.6%]	32 [0.9%]	13 [0.3%]
女	3,480 47.9% [100.0]	1,151 [33.1%]	14 [0.4%]	791 [22.7%]	758 [21.8%]	631 [18.1%]	15 [0.4%]	15 [0.4%]	6 [0.2%]	26 [0.7%]	2 [0.1%]	63 [1.8%]	8 [0.2%]

注) 総数には性別不詳・学年不詳を含む。

総数欄の%つきの数字は、就学状況の構成割合。[]内の数字は、就学状況別構成割合。

2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動について質問(質問項目については参考を参照)した中で最も多く経験しているのは「自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」の93.0%でほとんどの児童が経験しており、逆に最も少ないのは「自分や友人たちと計画して、旅行したこと」の21.5%の児童しか経験がない。

男女間で差の大きな項目は、「赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」で女子の経験が23.9ポイント大きくなっている。就学状況別で差の大きい項目は、「一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」、「アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」で中3から高校高学年に進むに従って経験の割合が高くなっている。

「いじめ」に関しては、「大勢で1人をいじめてしまったこと」25.0%、「いじめを受けていたこと」38.6%であり、いじめた側は男子の比率が高く、いじめられる側は女子の比率が高い。

また、「虐待」に関しては、「虐待を受けたこと」が全体の27.4%であり、女子の経験が10.5ポイント男子より大きい結果となっている。

表37 児童養護施設の年長児童の経験状況

	実数	ア.ネコの世話	イ.人を助ける	ウ.やりとげる	エ.旅行	オ.赤ちゃん	カ.ボランティア	キ.手続き	ク.買う	ケ.アルバイト	コ.大勢でいじめた	サ.いじめを受けていた	シ.虐待を受けた
総数	7,265	63.3%	73.1%	76.3%	21.5%	45.3%	68.4%	28.3%	93.0%	37.6%	25.0%	38.6%	27.4%
男	3,757	60.6%	69.8%	76.3%	22.4%	33.8%	67.7%	29.6%	90.9%	36.2%	25.9%	32.8%	22.3%
女	3,480	66.3%	76.8%	76.6%	20.5%	57.7%	69.2%	26.8%	95.3%	39.2%	23.9%	44.9%	32.8%
中3	2,402	65.0%	71.9%	75.7%	22.4%	46.3%	67.5%	14.1%	92.0%	4.8%	25.1%	37.0%	27.6%
高1	1,729	62.6%	72.2%	75.7%	18.5%	41.8%	68.4%	27.1%	92.1%	36.4%	27.0%	37.4%	27.1%
高2	1,505	62.7%	72.8%	75.9%	21.7%	47.9%	69.2%	36.5%	93.9%	55.5%	24.5%	41.2%	28.6%
高3・4	1,358	62.6%	77.2%	80.1%	23.2%	45.3%	70.8%	44.0%	95.2%	73.6%	21.9%	38.3%	25.3%
専・職	79	59.5%	68.4%	69.6%	24.1%	43.0%	65.8%	44.3%	93.7%	51.9%	22.8%	48.1%	27.8%
その他	161	61.5%	71.4%	72.0%	21.1%	45.3%	58.4%	36.0%	93.2%	64.6%	34.8%	50.3%	33.5%

注) 総数には性別不詳・学年不詳を含む。

(参考) 表37の全質問項目一覧

- 「ア. 犬、ネコなどや家畜などの世話をしたこと」
- 「イ. 困っている人を助けてあげたこと」
- 「ウ. 自分で決めた事(スポーツや勉強など)をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと」
- 「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」
- 「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」
- 「カ. ボランティアをしたこと」
- 「キ. 一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」
- 「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」
- 「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」
- 「コ. 大勢で1人をいじめてしまったこと」
- 「サ. いじめを受けていたこと」
- 「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

大切なことと思うものについて、10項目(質問項目については参考を参照)の中から、3つを選び回答してもらった。単語自体には多義的なものも多いが、特に限定せず児童の判断に任せた。

最も選択率が高かったものは、「5. 健康であること」の53.2%(前回51.2%)で、次いで「4. 友達がたくさんいること」の52.6%(前回54.1%)、「7. 将来に夢を持っていること」の41.8%(前回49.1%)となっている。

逆に、最も選択率の低かったものは、「8. 人のいやがる事をすすんでやること」の6.8%(前回8.2%)で、次いで「1. 勉強ができること」11.6%(前回10.1%)、「7. 勇気をもっていること」の18.8%(28.5%)となっている。男女ともに「8. 人のいやがる事をすすんでやること」が最も選択されず、次いで「1. 勉強ができること」、「7. 勇気をもっていること」の順は男女とも同じである。

男女間で差の大きい項目は、「6. 運動や歌などで、何か得意なもの(特技)があること」男子が女子より9.6ポイント高いのに対し、「2. 家族で仲良く生活すること」では女子が8.2ポイント、「9. 勇気を持っていること」では女子が4.9ポイント、男子より大きくなっている。

就学状況別で差の大きい項目は、中3から高校高学年に進むにつれ、「5. 健康であること」及び「10. 安定した仕事をする事」は割合が高くなっている。

表38 児童養護施設の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1. 勉強	2. 家族	3. お金	4. 友達	5. 健康	6. 特技	7. 夢	8. すすんでやる	9. 勇気	10. 仕事
総数	7,265	11.6%	39.9%	20.9%	52.6%	53.2%	27.2%	41.8%	6.8%	18.8%	21.7%
男	3,757	12.4%	36.0%	20.7%	53.3%	52.6%	31.8%	42.8%	6.3%	16.5%	22.1%
女	3,480	10.7%	44.2%	21.2%	51.8%	54.1%	22.2%	40.9%	7.2%	21.4%	21.4%
中3	2,402	15.0%	45.3%	18.7%	53.2%	51.7%	28.0%	40.7%	6.0%	20.6%	15.6%
高1	1,729	11.6%	38.1%	21.2%	55.9%	52.1%	27.5%	42.4%	5.7%	18.4%	21.3%
高2	1,505	10.8%	38.3%	23.0%	50.3%	53.4%	28.2%	42.3%	7.4%	16.6%	25.3%
高3・4	1,358	6.5%	35.3%	21.0%	51.4%	58.0%	24.9%	43.2%	8.8%	19.4%	26.6%
専・職	79	11.4%	38.0%	13.9%	46.8%	65.8%	20.3%	39.2%	7.6%	16.5%	38.0%
その他	161	11.2%	36.6%	34.8%	45.3%	44.7%	24.8%	38.5%	7.5%	16.8%	34.8%

注) 総数には性別不詳・学年不詳を含む。

(参考) 表38の全質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族で仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの(特技)があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

4 高等学校(各種学校)進学希望

児童養護施設入所児童のうち、中学3年生の高等学校又は各種学校への進学希望は、表39のとおりである。

調査の時点で進学を希望する児童の割合は84.5%(前回88.0%)であり、まだ考えていない児童は8.3%(前回4.4%)、進学を希望していない児童は5.8%(前回6.6%)となっている。進学を希望する児童において、男子に比べて女子が1.9ポイント大きい結果となっている。

表39 児童養護施設の年長児童の高等学校(各種学校)進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない
中学3年生	2,402	84.5%	8.3%	5.8%
男	1,247	83.6%	8.8%	6.2%
女	1,151	85.5%	7.7%	5.5%

注) 総数には性別不詳を含む。

5 大学(短大)進学希望

中学3年生以上の年長児童全員の大学又は短期大学への進学希望は、表40のとおりである。

調査の時点で大学(短大)進学希望者の割合は25.7%(前回21.4%)、考えていない28.1%(前回26.0%)、希望しない40.7%(前回46.5%)となっており、前回調査より進学希望が増加している。性別では、高等学校(各種学校)同様、女子の方が男子に比べ進学の希望が高い。

表40 児童養護施設の年長児童の大学(短大)進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない
総数	7,265	25.7%	28.1%	40.7%
男	3,757	22.1%	29.5%	42.6%
女	3,480	29.5%	26.6%	38.9%
中3	2,402	26.5%	36.7%	33.5%
高1	1,729	26.8%	28.1%	39.8%
高2	1,505	26.2%	21.2%	46.4%
高3・4	1,358	23.6%	20.7%	47.3%
専・職	79	16.5%	26.6%	49.4%
その他	161	19.3%	29.2%	44.1%

注) 総数には性別不詳・学年不詳を含む。

6 将来の希望 (1) -職業-

将来やりたい職業について、「会社や役所に勤める」、「工場に勤める」、「商店・デパート等に勤める」、「農業・漁業・林業・酪農など」、「学校の先生や保育士・看護師など」、「自動車・電車などの運転手及び船乗り・パイロットなど」、「美容師・理容師」、「スポーツ・芸能・芸術」、「警察・消防・自衛官」、「大工・建設業」、「新聞記者・アナウンサー」、「医者・弁護士」などの項目の中から1つを選択した結果が、次の表41である。

男子では、「スポーツ・芸能・芸術」12.1% (前回 11.7%)、「工場に勤める」11.8% (前回 8.2%)、「飲食業・調理等」8.0% (前回 7.5%) が上位を占めている。

女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」20.9% (前回 21.6%)、「飲食業・調理等」9.3% (前回 7.3%) 「スポーツ・芸能・芸術」8.4% (前回 7.2%) が上位を占めている。

表41 児童養護施設の年長児童の将来の希望 (職業)

	実数	会社や役所に勤める	工場に勤める	商店・デパートに勤める	農業・漁業・林業・酪農等	先生・保育士・看護師等	運転手・船乗り・パイロット等	美容師・理容師	飲食業・調理等	スポーツ・芸能・芸術	警察・消防・自衛官	大工・建設業	新聞記者・アナウンサー	医者・弁護士	その他	未決
総数	7,265	4.9%	7.1%	4.0%	1.7%	12.6%	2.3%	4.4%	8.6%	10.3%	1.9%	4.1%	0.2%	0.9%	14.7%	20.0%
中3	2,402	4.2%	4.4%	3.5%	2.4%	11.9%	2.6%	4.7%	8.7%	13.2%	1.5%	4.7%	0.2%	1.0%	14.8%	20.4%
高1	1,729	4.7%	5.7%	4.1%	1.3%	13.0%	2.4%	3.6%	8.9%	10.1%	1.8%	4.1%	0.4%	1.1%	12.8%	24.1%
高2	1,505	5.3%	7.6%	5.4%	1.3%	13.0%	1.5%	4.7%	7.6%	8.5%	2.3%	3.3%	0.2%	0.6%	14.0%	21.9%
高3・4	1,358	6.0%	13.0%	3.8%	1.3%	13.2%	2.5%	4.8%	9.4%	8.5%	2.6%	2.9%	0.2%	0.8%	16.7%	11.8%
専・職	79	5.1%	12.7%	3.8%	1.3%	11.4%	3.8%	2.5%	7.6%	1.3%	2.5%	16.5%	1.3%	-	16.5%	11.4%
その他	161	1.2%	3.7%	0.6%	3.7%	11.2%	1.9%	4.3%	7.5%	8.1%	1.2%	6.8%	-	-	21.1%	26.7%
男	3,757	5.7%	11.8%	2.6%	2.4%	4.8%	4.1%	2.2%	8.0%	12.1%	3.2%	7.5%	0.2%	0.8%	11.0%	21.2%
中3	1,247	5.3%	7.8%	2.6%	3.5%	3.6%	4.8%	1.8%	8.2%	16.8%	2.4%	8.6%	0.2%	1.1%	10.5%	20.9%
高1	933	5.6%	10.1%	2.4%	1.8%	4.3%	4.4%	1.7%	8.5%	10.7%	2.6%	7.3%	0.3%	1.0%	10.3%	26.7%
高2	740	5.4%	12.8%	3.9%	1.5%	6.2%	2.6%	2.4%	6.6%	8.8%	4.3%	6.1%	0.1%	0.7%	11.5%	24.5%
高3・4	710	7.5%	20.3%	1.7%	2.1%	5.6%	4.5%	3.1%	8.6%	10.1%	4.5%	5.5%	0.3%	0.4%	11.1%	12.1%
専・職	51	3.9%	17.6%	-	-	5.9%	3.9%	3.9%	7.8%	2.0%	3.9%	23.5%	2.0%	-	15.7%	9.8%
その他	63	1.6%	4.8%	1.6%	6.3%	7.9%	1.6%	3.2%	7.9%	6.3%	-	15.9%	-	-	20.6%	19.0%
女	3,480	3.9%	2.0%	5.5%	0.9%	20.9%	0.3%	6.8%	9.3%	8.4%	0.6%	0.5%	0.3%	0.9%	18.8%	18.8%
中3	1,151	3.1%	0.8%	4.3%	1.1%	20.7%	0.3%	7.9%	9.3%	9.2%	0.5%	0.4%	0.2%	1.0%	19.5%	19.9%
高1	791	3.8%	0.6%	6.2%	0.5%	23.0%	0.1%	5.8%	9.5%	9.1%	0.9%	0.4%	0.5%	1.3%	15.8%	21.2%
高2	758	5.0%	2.6%	6.7%	1.1%	19.7%	0.4%	6.9%	8.6%	8.3%	0.4%	0.7%	0.3%	0.5%	16.6%	19.5%
高3・4	646	4.2%	5.1%	6.0%	0.5%	21.5%	0.3%	6.5%	10.4%	6.7%	0.5%	0.2%	0.2%	1.2%	22.9%	11.5%
専・職	28	7.1%	3.6%	10.7%	3.6%	21.4%	3.6%	-	7.1%	-	-	3.6%	-	-	17.9%	14.3%
その他	98	1.0%	3.1%	-	2.0%	13.3%	2.0%	5.1%	7.1%	9.2%	2.0%	1.0%	-	-	21.4%	31.6%

注) 総数には性別不詳・学年不詳を含む。